

表2 生活習慣病予防健診実施医療機関一覧

医療機関名	所在地
1 あきる台病院	秋川6-5-1
2 池谷医院	秋川1-3-7
3 いなメディカルクリニック	伊奈477-1
4 奥野医院	下代継95-11
5 奥村整形外科	下代継19-1
6 草花クリニック	草花2724
7 公立阿伎留医療センター	引田78-1
8 小机クリニック	小中野160
9 近藤医院	油平35
10 斎藤医院	二宮1364-3
11 さくらクリニック	野辺1003
12 佐藤内科循環器科クリニック	秋川2-5-1
13 佐野内科クリニック	野辺1091
14 清水外科	二宮1011
15 朱膳寺内科クリニック	秋留1-1-10
16 鈴木内科	館谷156-2
17 瀬戸岡医院	二宮1240
18 葉山医院	引田552
19 樋口クリニック	秋川3-7-5
20 星野小児科内科クリニック	小川東1-19-20
21 米山医院	二宮1133

上記は、5月1日現在の状況であり、変更になる場合があります。最新の一覧表は、受診券とともに送付します。

# 35歳から39歳までの方の「生活習慣病予防健診」受診者募集



市では、生活習慣の改善が必要な人を早期に発見し、生活習慣病になる前の段階で食い止めるため、生活習慣病の予防に重点を置いた健診を行います。健診の結果、生活習慣の改善が必要な方には、栄養と運動に重点を置いた「保健指導」を行います。実施期間 8月1日(土)から10月31日(土)まで 検査項目 表1のとおり 対象 昭和45年4月2日

表1 生活習慣病予防健診項目

「基本的な健診」の項目 すべての対象者が受診します。

身体計測	身長
	体重
	BMI 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)
血圧	収縮期血圧(最高血圧)
	拡張期血圧(最低血圧)
血中脂質検査	中性脂肪
	LDLコレステロール
肝機能検査	HDLコレステロール
	AST(GOT)
	ALT(GPT)
代謝系検査	-GT(-GTP)
	空腹時血糖
	HbA1C
腎機能検査	尿酸
	尿糖
	尿蛋白
	血清クレアチニン

「詳細な健診」の項目 医師の判断に基づき選択的に行われます。

貧血検査	ヘマトクリット値
	血色素量(ヘモグロビン値)
心機能	赤血球数
	12誘導心電図
眼底検査	眼底写真撮影

眼底検査実施医療機関は、阿伎留医療センター・野口眼科医院・森眼科となります。

から昭和50年4月1日生まれまでの方「平成22年3月31日までに、職場などで健康診査や人間ドック(予定を含む)などを受けられる方を除く」 定員 470人(抽選) 費用 無料 実施方法 受診券と問診票(事前に必要事項を記入してください)をお持ちの上、生活習慣病予防健診実施医療機関(表2)で受診してください。その他 抽選結果(受診券・問診票)などを7月

下旬に全員に送付します。申込み方法 6月30日(火)(消印有効)までに、はがきに「生活習慣病予防健診希望」、郵便番号、住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号を記入し、送付してください。電話での申込みは、受付していません。

申込み・問合せ 〒197-0814 あきる野市二宮350 健康課健康づくり係(直通558-1118)

## 平成21年度 がん検診申込み受付中

対象 市内在住の方 検診期間 9月から12月まで(検診場所によっては2月まで) 申込み方法 申込みの場合: 申込書に必要事項を記入し、郵送してください(6月15日(月)の消印有効)。電話での申込みは、受付していません。平成20年度のがん検診に申し込んだ方と対象年齢に達した方(前立腺がんを除く)には、申込書を送付していただきます。申込書は、市役所1階ロビーと五日市出張所に置いてあります(6月15日(月)まで)。電子申請の場合: 6月15日(月)までに、市のホームページにリンクされている「電子申請サービス」で申し込んでください(初めて利用する方は、登録が必要です)。 検診場所 あきる野保健相談所(検診車)、五日市保健センター(検診車)

子育て世代を支援する「ちよこごと サポート」を実施 子育て世代の方が受診している間、保健師とボランティア、保育士が遊びなどを通じて子どもの相手をしてあげます。対象 満1歳から未就学児(受診日当日) 場所 あきる野保健相談所 申込み方法 申込書の所定欄に記入するか、電子申請の所定欄に入力してください。 その他 職場で同様の検診を受けられる機会のある方、受診部位の手術を受けた方、受診部位を治療中・経過観察中の方などは対象となりません(各がん検診共通)。乳がん・子宮がん検診は、「国の指針」により2年に1回の受診となります。詳しくは、広報(5月15日号)、ホームページ、説明書(申込書と同じ場所に配置)をご覧ください。 申込み・問合せ 〒197-0814 あきる野市二宮350 健康課健康づくり係(直通558-1118)

## 市長コラム No.16

4月の頃、4〜5本のさやえんどうの苗が庭先の小さな家庭菜園に無造作に植えてありました。地べたを這うようにしたので支柱を立ててやったら、もう今はしっかりと支柱を伝わって大きく伸びていました。食べられるようになったね」と妻に声をかけ、気持ちの良い初夏の陽の下で、孫にこのえんどうの柔らかい実をつみ取らせるのは、とてもうれしいものです。市内のどのご家庭でも、新鮮な旬の野菜が食卓を飾っていることでしょうか。あきる野市だからこそ地産の取りたての農産物を消費できるのではないのでしょうか。 今日の話に、食糧の自給率や食の安全の問題があります。農村の高齢化や過疎化が進行し、耕作放棄地は全農地の1割に達していると言われます。美しい日

本々の田園風景が力やの原に年々変わって行くことを憂えてはならない、関係者ばかりではなくなっています。とりわけ、東京農業は農地が減少の一途を辿り、農地が守られてきた環境も失う結果を招いています。先般、東京都の農政担当者との話の中で、東京農業は都民市民のために大きな貢献をしている事を、多くの都民に理解していただき、何としても守って行きたい。そのためにも、緑と潤いの都市農業を担うあきる野市に期待していると聞かれました。 今年度、市では農業と農地を活かしたまちづくり事業を展開するため「あきる野農業・地産地消プロジェクト」を立ち上げます。今後、市民の皆さんと専門家も交えて計画を進めますので、各分野での協力をお願いいたします。

あきる野市長 白井 孝

表3 検診の種類など

検診の種類	対象者	費用
胃がん	35歳以上	1,000円
大腸がん	35歳以上	300円
肺がん	35歳以上	1,000円
乳がん	30歳以上の女性	1,500円
子宮がん	20歳以上の女性	頸部1,000円 頸部・体部1,500円
前立腺がん	50歳以上の男性	300円

対象者は、平成22年4月1日の時点での年齢